

令和 7 年度

とよみ小学校 第 1 回コミュニティ・スクール協議会 報告書

1 開催日時 令和 7 年 5 月 2 0 日（火） 1 3 : 4 5 ~ 1 6 : 4 5

2 場 所 とよみ小学校（図書室）

3 参 加 者 稲嶺可奈子、川満玄治、伊計徳善、与儀サエ子、宮平るみ子、
仲田英安、丹野清彦、赤嶺智郎、前田誠、大城祐

4 会議内容

(1) 今回の会議の主なテーマ

故郷（地域）への誇りと・愛着について

(2) 話し合いの内容

【校長から】

○未来を切り開くたくましく、優しい子を育てるとは？

→自己肯定感、表現力、人のことを大切に聞く、故郷への誇りと・愛着を育てること。

○多くの人と関わることが大切と考える。多くの人との関わりとは？

→対話的な授業・体験での学び、実感のある理解が必要（達成感のある行事、練習してうまくなる等で自己肯定感アップする。そこには多くの人と関わりがある）

・公立校として①主体的・対話的な授業、②すべての子体験を実感のある理解をさせたい。③達成感のある行事・練習してうまくなる（自己肯定感アップ・やればできるを実感させる。）

児童アンケート過去 4 年前令和 3 年から令和 6 年までの結果から、自己肯定感がどんどん上がっている。表現力も上がっている。

○地域子供会を活用してラジオ体操ができないか。元気なおじーちゃん、おばーちゃんと一緒に活動が作れないか。夏休み前に意識を高めて、取り組みができないか。地域とつながるチャンスをつくりたい。

→八島会（8 つの自治会）の会長の集まりでお願いする。（前 PTA 会長から）

【川満玄治より】

○図書館の有効利用ができないか。休みの日などの利用。居場所づくりを大切にしているので、学校の開放が必要でないか。セキュリティ面や運営で課題があるかも。学校の協力体制が必要である。どのようにできるか市も交えて考えていきたい。障害をもっている親が集まるところがない。読み聞かせの人が活用できる場所。そういう方々が活用できる場所になればいいと思う。

→教育委員会へ可能かどうか確認を行う。

【伊計徳善より】

○子供会があった。それぞれ仕組みがあった。子供会があるか調べる。夏休みで地域懇談会で仕組みを作ってもよい。公民館で本の貸し借りができる仕組みをつくることができないか。

→豊見城市で移動図書館をやるという話がある。確認する（川満）

【与儀サエ子】

○花とも会で公民館をつかって何かできないか。壁画を通して不登校が学校に来るようになった子がいる。教室に入って授業を受けるようになった。よぎさんから、一緒にラジオ体操しないとさそったら、不登校児童がラジオ体操に行こうかなと話している。

壁画をきっかけにつながった子がいる。

ラジオ体操のいいところをたくさん話してあげることも大切。

区長会でまずお願いする。それで、各字に持ち帰ってもらう。

ラジオ体操がどこでやっているかわからない子も多いので、告知をしていく。学校でまず集まってラジオ体操の計画を立てる。

○学校の立哨ボランティアのほとんどの方が PTA 保護者でなく、地域のおじいちゃん、おばちゃんである。保護者への声かけが必要ではないか、小学校からもっと呼びかけてほしい。

(3) 決定事項、役割分担、今後の方向性（学校運営への反映に向けて）等

○とよみ小学校コミュニティ・スクールの会長・副会長選出

会長・・・川満玄治

副会長・・・伊計徳善

(4) その他の事項



【中上郁夫 氏 講話視聴の様子】



【第三部 熟議の様子】

5 次回予定 令和7年6月6日（金） 9：35～12：20